



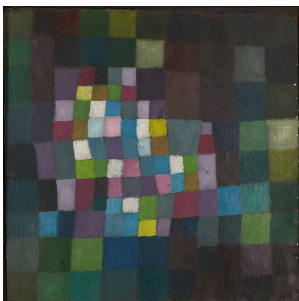
[1] 萬鉄五郎
《裸体美人》1912年、重要文化財



[2] 杉本博司《カポット・ストリート・シネマ、マサチューセッツ州》1978年
© Hiroshi Sugimoto / Courtesy of Gallery Koyanagi



[3] 長谷川三郎
《オルレアン街道の雨》1930年



[4] パウル・クレー
《花ひらく木をめぐる抽象》1925年

いま話題の！ MOMAT コレクション



会期：2026年5月26日（火）—9月13日（日）
会場：東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー4～2階

名品だらけ！2026年5月26日—9月13日のおすすめは、1階で開催する企画展「杉本博司 絶滅写真」（6月16日—9月13日）にちなんだ関連展示（3階8室、9室と10室の一部）。特に初公開となる「スギモトノート」は必見です。豊富なコレクションを有する当館ならではの、企画展との連動にご注目ください。また、河原温、漆原秀子、前本彰子、横溝静など、今期も**たくさんの新収蔵作品**を公開。美術館の所蔵品展は、保存の観点から会期ごとにほぼすべての作品が入れ替わります。一度出品されたらしばらく見られない作品も少なくありません。近代美術史を見通しながらいつも新鮮なトピックに触れられる MOMAT コレクションをぜひお楽しみください。

今期のおすすめその1 劇場・海景・スギモトノート（3階10室手前）

同時期開催の企画展「杉本博司 絶滅写真」のサテライト展示として、当館所蔵の杉本作品13点と、その制作過程を記したノートを紹介。初公開となる貴重な「スギモトノート」は、杉本が現代美術作家として出発した1970年代半ばから始まったもの。作品についてのアイデア、撮影や暗室作業に関する技術的な工夫などの試行錯誤が記録されています。

みどころ

杉本のアイデアと職人的技術を伝える「スギモトノート」初公開！

コレクションを中心とした小企画

今期のおすすめその2 生誕120周年 長谷川三郎と国立近代美術館（2階ギャラリー4）

抽象美術のパイオニアとして知られる長谷川三郎（1906-57）は1950年代、開館したばかりの当館に関わった重要人物です。今回は、画家、評論家、思想家の顔を持ち合わせた長谷川の、キュレーターとしての側面に注目し、関係作家の作品を交えてその総合的な芸術家像に迫ります。日本の近代美術史における最重要人物とも言われる長谷川とともに、「近代」が立ち上がっていく様にご注目ください。

みどころ

学校法人甲南学園長谷川三郎記念ギャラリーからの貴重な借用品も展示。東京で紹介されることの少ない長谷川の実像を知るチャンスです。

今期のおすすめその3 ハイライト（4階1室）

代表作を揃え、当館のコレクションの魅力をぎゅっと凝縮した「ハイライト」。常におすすめの部屋ですが、今期は北野恒富、小倉遊亀（前期展示：5/26-7/20）、福田平八郎（後期展示：7/22-9/13）らの、当館でも屈指の人気を誇る日本画作品が登場。他にも、各地の展覧会にひっぱりだこだった藤田嗣治《五人の裸婦》の約3年ぶりの展示、セザンヌ、ボナール、クレー、奈良美智など、この部屋常連の名品もじっくりとご堪能ください。

みどころ

「MOMAT コレクション」の顔が集まる豪華な部屋！

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課コレクション情報発信室 成相・由良
Tel：03-3214-2565（直通） Email：pr-f@momat.go.jp



開催概要

タイトル：所蔵作品展「MOMAT コレクション」（しよぞうさくひんてんもまっとこれくしょん）

会場：東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー 4 階から 2 階

会期：2026 年 5 月 26 日—9 月 13 日

休館日：月曜日（ただし 7 月 20 日は開館）、7 月 21 日（火）

開館時間：10:00–17:00（金曜・土曜は 10:00–20:00）※入館は閉館 30 分前まで

観覧料：一般 500（400）円／大学生 250（200）円

※（）内は 20 名以上の団体料金。いずれも消費税込 ※金曜・土曜の 17 時以降は、割引料金（一般 300 円、大学生 150 円）
※高校生以下および 18 歳未満、65 歳以上は無料。※障害者手帳をご提示の方とその付添者（1 名）は無料。

住所：〒102-8322 千代田区北の丸公園 3-1

アクセス：東京メトロ東西線「竹橋駅」（1b 出口）徒歩 3 分

一般のお問い合わせ：050-5541-8600（ハローダイヤル）

ウェブサイト：<https://www.momat.go.jp>

主催：東京国立近代美術館

同時期開催：企画展「杉本博司 絶滅写真」

2026 年 6 月 16 日（火）—9 月 13 日（日）

<https://www.momat.go.jp/exhibitions/569>

*「杉本博司 絶滅写真」の観覧料で、入館当日に限り、所蔵作品展「MOMAT コレクション」とギャラリー 4「コレクションを中心とした小企画」もご覧いただけます。



東京国立近代美術館は、皇居のほど近くに建つ、日本で最初の国立美術館。最大の特徴は、重要文化財 18 点（うち 2 点は寄託）を含む 14,000 点を超える国内最大級のコレクション。19 世紀末から今日まで、日本の近現代美術を中心とする多数の名作を所蔵しています。都会の真ん中でありながら自然豊かなエリアに位置し、最上階の休憩室「眺めのよい部屋」からは、皇居の緑と丸の内ビル群のパノラマ・ビューをお楽しみいただけます。

ご取材お待ちしております！

東京国立近代美術館には、「コレクション情報発信室」があります。所蔵品を管理する美術課に所属し、作品の魅力や楽しみ方を広報する部署です。当館の所蔵する日本随一の作品群は、まだ十分に知られていません。いつでも気軽にご連絡ください。コレクションをよく知る研究員が、みなさまからのご取材を心よりお待ちしております。



【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課コレクション情報発信室 成相・由良

Tel：03-3214-2565（直通） Email：pr-f@momat.go.jp

MOMAT